



札幌市議会議員
豊平区

ともこ 小竹知子 政務調査だより

<http://www.parl.biz>

発行所／札幌市議会議員 小竹 知子 政務調査室

住 所／〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通6丁目3-28 TEL.(011)851-1300 FAX.(011)851-1360

■発行日／2013年1月1日(火) 【活動報告】はブログで！随時更新中 ブログ<http://ameblo.jp/k-tomoko/>

やさしさと情熱を市政に



ごあいさつ

新しい年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、皆さまから温かい励ましの言葉を頂き、厚くお礼申し上げます。

昨年9月の第3回定例市議会で、市議となつて2度目の代表質問を行いました。

地域の皆さまから私に寄せられたご意見やご要望を質問の骨子にすえ、行政に対する切り込み方などに苦心しながら作業を進めました。

「町内会の加入促進」、「国民健康保険のカード化」「商店街再生事業」、「除雪対策」「月寒のまちづくり」等いずれも地域の課題、皆さまの身近な問題について、市長にその認識をただしました。

4月に1期日の折り返しを迎える。これからも豊平区の皆さまのご期待を裏切らぬよう一層の研鑽を積み、ご意見・ご要望を議会質問として市政に反映させるべく努力してまいります。

本年が希望のもてる良きとなりますよう、併せて皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。

私たち自民党・市民会議のメンバーは、日々から選出区の住民や各種団体の皆さまから市政の課題について意見・要望をつぶさにお聞きし、その課題解決に努めてまいりました。

【全市的課題】

●札幌市連へ継続

- ① 北海道新幹線の早期札幌開業
- ② 地下鉄東豊線の福住駅から清田区までの延長
- ③ 都心部と高速道路のアクセス強化早期事業化
- ④ 丘珠空港ジェット化へむけた滑走路延長と、それに伴う空港周辺整備
- ⑤ 地下鉄南北線すすきの駅と、東豊線豊水すすきの駅との連動整備
- ⑥ 生活保護扶助費不正受給者の防止と適正化
- ⑦ 市職員の中間管理職以上の人員10%削減
- ⑧ 厚別副都心地区及びその周辺の再開発

●豊平区連合支部へ継続

①市職員の人員削減について

札幌市の厳しい財政状況が今後も続くため、経済、景気回復と雇用確保はリーマンショック後、非常に厳しい。更に3.11東日本大震災により、先行き不透明であり、先ず市職員の人員費削減が急務。札幌市の財政基盤が脆弱である。よって中間管理職以上の人員10%削減を要望する。

②市職員の人材配置について

市職員の人事は適材適所を十分考慮した人材配置を強く要望いたします。

(1) 例えば、まちづくりセンター所長の人事配置につきましては、体育館館長等、退職者の方で、十分対応が可能と判断しております。

(2) まちづくりセンター所長経験者など、まちづくりに精通した退職者を対応させる事によって人員費の大削減が可能となります。

③生活保護扶助費不正受給者の防止と適正化について

生活保護扶助費の削減を何としても不退転の決意で実行していくだけよう要望する。

豊平区について4項目の重点を要望

～平成25年度札幌市予算編成～

(1) 生活保護扶助費適正化を急ぐようお願いいたします。

(2) 受給者にボランティア活動に参加してもらうよう

に要望する。

(3) 市が主体性を強く持ち、生活保護受給者に自立を促す施策を企画・立案していただきたい。(民生委員の負担大)

④地下鉄清田区延伸について

地下鉄の清田区への延伸は、清田区民は勿論のこと

豊平区民にとっても悲願であり強く要望します。

(1) 東豊線は福住が終点です。(仮称)札幌ドーム駅

(札幌ドーム東側)を開設し清田区役所まで延伸す

べき。

(2) 札幌市地下鉄50km構想を必達すべき。

(3) 清田区民要望No.1

小竹ともこのフォトグラフ



会派議員7人で聴学校を視察



橋本聖子参議院議員に重点政策を聞く



2012全国まちづくり商店街サミットin安城(愛知県)



地熱エネルギー



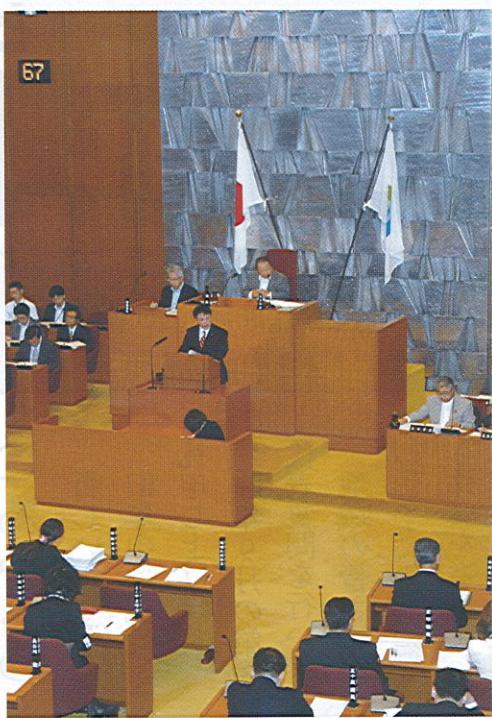
決算特別委員会にて質問

「委縮財政」では経済活性化ができない!

決算特別委員会

23年度決算で重要施策54項目を論議

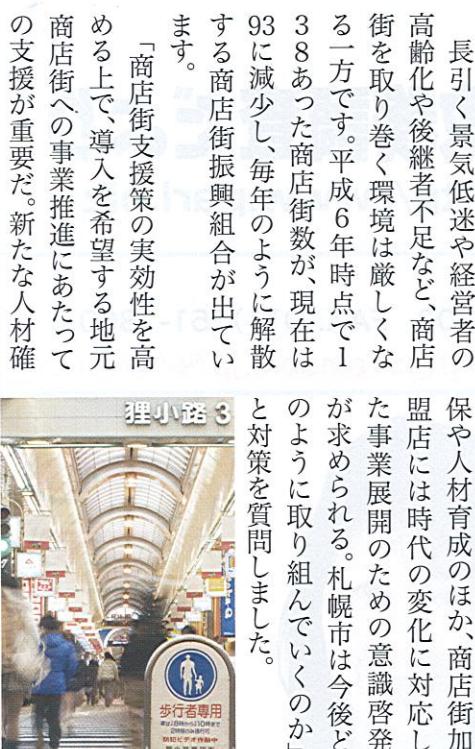
平成24年度第3回定例市議会(9月20日～11月2日)は52億4500万円の一般会計補正予算案と23年度各会計決算を、第4回定例市議会(12月4日～12月13日)は一般会計の補正や給与条例に伴う減額補正などの予算案などを審議しました。自民党・市民会議は、3定で川田匡桐議員(厚別区)と小竹知子議員(豊平区)が、4定で北村光一郎議員(清田区)と小竹知子議員(豊平区)が本会議で代表質問に立ち上田市長の政治姿勢を追及しました。また、決算特別委員会でも各会計にわたり市政の問題点を厳しく指摘しました。



第3回 定例市議会 代表質問ハイライト

どのように商店街振興に取り組むのか

学力テストへの対応



長引く景気低迷や経営者の高齢化や後継者不足など、商店街を取り巻く環境は厳しくなる一方です。平成6年時点で138あつた商店街数が、現在は93に減少し、毎年のように解散する商店街振興組合が出ています。「商店街支援策の実効性を高める上で導入を希望する地元商店街への事業推進にあたっての支援が重要だ。新たな人材確

保や人材育成のほか、商店街加盟店には時代の変化に対応した事業展開のための意識啓発が求められる。札幌市は今後どのように取り組んでいくのか」と対策を質問しました。

これが「文科省の全国学力・学習調査は、単一の価値観で子どもを評価する危険性をはらむもので容認解を求めました。

平成24年度学力テスト
47都道府県中 北海道
小学校 46位
中学校 38位

【主要な市政課題】

十分に審議を尽くすべきだ

札幌市まちづくり戦略ビジョン

現在、策定中の「まちづくり戦略ビジョン」は10年先のまちづくりの指針であり、札幌市の最上位の計画に位置付けられます。今後のあるべき姿を対応することを強く望みます。

早期に不安を解消する対策公表を

でも解消する対策を公表するなど、しっかりととした取り組みを行うよう強く指摘します。

積極的財政運営に切り替えが必要

【一般会計】

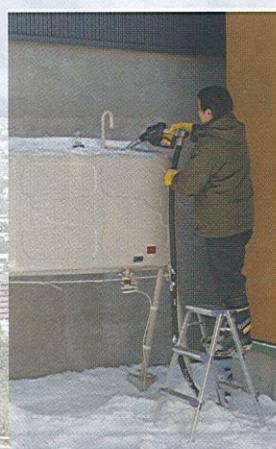
札幌市の経済を立て直すために、景気の底上げによる経済の活性化が重要であり、仕事の創出と雇用の拡大、維持を優先する積極的な対策が求められています。

財政運営においては、公共事業に替わる産業づくりを主体とした経済対策や、税源の涵養策などにより、萎

縮した財政から積極的な財政運営に切り替えが必要です。経済活性化による景気浮揚対策のため、予算執行の低い経済費、土木費、教育費は極力年度内の執行に努めるとともに、契約差金などの不用額をはじめ、余剰金の積極的な活用を検討、推進すべきです。

節電・暖房対策

冬の節電は、夏とは違い命にかかる多くの市民が不安を抱いています。石油価格の高騰など、市民生活に大きな影響が生じる事態も想定されます。冬を乗り切るための施策を十分に検討し、早い時期に市民の不安を少しおさない乗り切ることができます。原発の再稼働



第4回定例市議会ハイライト

市電ループ化で十分な説明を求める

市電のループ化を含めた路線延伸については、これまで「経営形態の見直しを行い、黒字化の目途を立ててから論ずるべきだ」と主張してきました。

今定例会で提出された議案「軌道事業の実施に関する件」については、総合交通体系の推進と交通事業の抜本的な改革につながるものと理解して、賛成しました。しかし、今後もループ化などの路線延伸のみを先行するではなく、①今以上の事業内容の公表②魅力あるまちづくりの計画③総合交通体系の中の変更の位置づけなどで十分に説明を尽くすことを求めました。

